



経験を生かして 町をより良く

青少年健全育成推進町民大会で司会を務めたことが印象に残っています。大勢の人の前でしたが、かまわずに発表することができました。国見町をより良い町にするため、この経験を生かしていきたいです。

藤原 華凜さん(中1)

知らない町の魅力に 気付くきっかけに

平泉町や池田町のお祭りに参加して、たくさんの人と楽しく交流できました。国見町のことを学び、今まで知らなかった国見町の良さを知ることができました。



半澤 華那さん (小6)



普段できない体験 貴重な思い出に

平泉町や池田町への訪問など、普段の日常ではできない貴重な体験を通して、国見町をPRすることができて良かったです。活動を通して、緊張しがちな性格を克服できたと思います。

樋口 綾のさん (小6)

人前で話せるように 苦手を克服

平泉町を訪問し、みんなで「水かけ神輿」に参加したことが思い出です。人前で話すことが苦手でしたが、PR活動などを通して話せるようになりました。



高橋 凜さん (小6)



緊張した経験も 良い思い出に

池田町長を表敬訪問したときはとても緊張しましたが、貴重な経験になりました。活動を続けるうちに、初めて会った人とすぐに打ち解け、仲良くなることができました。

佐藤 圭将さん (小6)



Chapter 1

学習編「国見学」

- 1 モモ生産者の元を訪ね、国産産モモのおいしさの秘訣を学びました
- 2 阿津賀志山防塁や道の駅などを見学
- 3 調べたことを模造紙にまとめ、発表練習する団員



国見ジュニア応援団が最初に取り組んだことは、“国見町を知ること”。

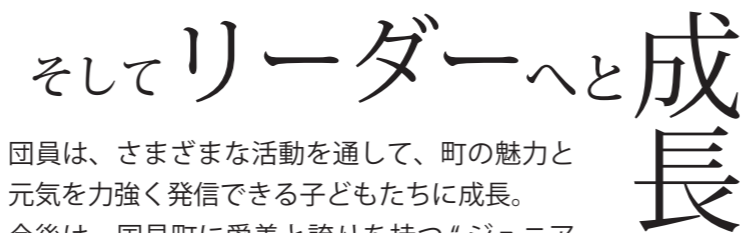
阿津賀志山防塁や中尊寺蓮、道の駅を見学したほか、生産者から町特産のモモについて話を伺いました。町の歴史や文化、産業について学びを深めた団員は、今まで気づかなかった町の魅力を再発見しました。



Chapter 3

岐阜県池田町との交流

- 7 池田町長を表敬訪問する団員
- 8 『みの池田ふるさと祭』で池田町の子どもたちとともに国見特産の果物をPR
- 9 祭り会場ステージで国見町をPR



団員は、さまざまな活動を通して、町の魅力と元気を力強く発信できる子どもたちに成長。今後は、国見町に愛着と誇りを持つ“ジュニアリーダー”として、町を応援していきます。



国見ジュニア 応援団の歩み

2018 - 2019

Chapter 2

岩手県平泉町との交流

- 4 平泉町の『水かけ神輿』に参加し、地元メディアの取材を受ける団員
- 5 両町の子どもたちが兵士に扮して『義経公行列』に参加
- 6 モモ狩り体験で交流を深めました



国見町を 発信する

国見ジュニア応援団は、体験活動として国見町と交流のある岩手県平泉町と岐阜県池田町を訪問。団員は、地元の子どもたちとふれあいながら、「国見学」を通して学んだ町の魅力と、震災復興に向けて歩みを進める町の“今”を、持ち前の元気とともに発信しました。



Chapter 4

青少年健全育成推進町民大会 ～1年間の活動発表～

- 10 大会での発表に向けて協力しながら準備を進める団員
- 11 リハーサルも真剣です
- 12 本番では堂々とした発表を披露



「おいしい」がうれしい

平泉町や池田町で国見町の果物をPRした際に、地元のみなさんが「おいしい」と言ってくれたことがうれしかったです。話すのが苦手でしたが、活動を通して少しずつ話せるようになり、友だちもたくさんできました。



村木 知温さん(小6)



自分に自信が 持てるようになった

最初の頃は緊張していましたが、次第に慣れて、池田町での活動ではたくさんの友だちと交流できて楽しかったです。発表活動などを通して、自分に自信が持てるようになりました。

赤井畑有美さん(小6)

町の歴史に触れて 魅力を再認識

平泉町や池田町での交流活動を通して、友だちがたくさんできて楽しかったです。国見町や平泉町、池田町の歴史を学んだことで、改めて国見町の魅力を知ることができました。



安藤 優さん (小6)



農家さんの苦労や 思いを知った

事前学習で農家さんの苦労や思いを聞き、国見の果物のおいしさの理由を知ることができました。応援団でさまざまなことを経験して、自信を持って人前に立つことができるようになりました。

高橋 楓花さん(小6)

国見町が“誇らしく”

平泉町や池田町の歴史に触れて、「もっと知りたい」と学ぶ意欲が生まれました。地元の方とも交流できて良かったです。国見町の魅力を知り、国見町が誇らしく思えるようになりました。語彙力もアップしたと思います！



武田 莉紗さん(中1)